

平成 30 年 8 月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

平成 30 年 8 月 23 日 (木)

開会 午前 9 時 30 分 閉会 午前 11 時 07 分

2 場 所

市役所西館 2-6 会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 上野委員 今村委員 飯盛委員 大庭委員 荒牧委員 白木原委員

欠席者 なし

4 会議出席職員

山口教育部長 江頭学校教育担当部長 橋間教育総務課長 松尾保育幼稚園課長 深町生涯学習課長 古庄文化課長 松本教育総務課庶務係長

5 教育長の報告事項

- ・ 8 月も残り少し。今のところ幼稚園、保育園、小学校、中学校の子供たちが大きな事件、事故に巻き込まれたという報告は来ていない。このまま 2 学期に向けてスタートできたらと思う。
- ・ 高温も続いている中、台風も襲来している。天候については今後も注意深く見ていきたい。
- ・ 8 月は 6 日に広島、9 日に長崎に原爆が投下され、15 日は終戦記念日という事で、平和について取り上げるが、特に広島以西の西日本地区では学校等での平和教育の充実がなされている。登校日に平和教育を取り上げる機会を設けているが、東日本には一切そういう行事がないことも多い。小城市では今年も南九州市との交流事業として平和の出前講座が行われ、芦刈観瀾校と牛津中学校で『命の尊さと親子の絆』をテーマに語り部さんからお話をいただいた。
- ・ 今後は、日本の戦争について体験者から直接話を聞く機会が非常に少なくなってくる可能性がある。平和教育においてどう戦争体験を継承していくかは、平和教育の重要な学習課題としてとらえる必要がある。
- ・ 8 月 1 日第 2 回小城市教育委員会評価委員会。9 日の第 3 回評価委員会を経て最終的に 10 月に公表できるようなスケジュールで考えている。
- ・ 2 日社会教育主事講習現地研修開講式。今回は小城市が九州大学の社会教育主事講習の研修地となり、福岡、長崎、大分より 8 名の受講者を受け入れた。
- ・ 3 日小城市の人権・同和問題を考える講演会。8 月は同和問題啓発強調月間という事で有意義な講演会が開催された。
- ・ 4 日中林梧竹翁 106 回忌。間もなく生誕 200 年という事で、書を通して功績をしっかりと受け継いでいきたい。
- ・ 5 日小城市子どもクラブ球技大会が高温により中止。
- ・ 6 日小城市立歴史資料館協議会。岩松会長が退任され、新たに村岡会長が引き継ぐこととなった。同日小城市立中林梧竹記念館協議会。
- ・ 7 日第 48 回佐賀県人権・同和教育研究大会全体会。L G B T に関する講演が行われた。
- ・ 7 日牛津地区青少年育成会懇談会。

- ・ 8日三里保育園の小城市教育委員会訪問。同日臨時教育委員会。
- ・ 今年は8月13日から15日まで学校閉庁日を設けさせていただいた。
- ・ 18日第2回小城市キンボール大会。
- ・ 19日第29回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会表彰式。今回は小城高校での揮毫はなされなかったが、夏季の開催については今後検討するとの事であった。
- ・ 20日小城市議会勉強会。2023年国民体育大会について、名称も国民スポーツ大会に変わり、小城市ではハンドボール、バレーボール、ソフトボールの種目を受け入れるという事で議会に報告を行った。
- ・ 20日県の市町教育長意見交換会、主に学力向上対策とSNSの指導について話があり、私も会議の中で、学校の取組はしっかりなされている中で、定着を深めるためには家庭教育、家庭学習の充実が今後必要になると意見を出させてもらった。
- ・ 21日小城市多忙化対策検討委員会。学校閉庁日の効果の確認と、働き方改革等の各学校の取り組みを工夫する一方で、市の教育委員会としてどう進めていくかという貴重な話があった。
- ・ 同日幼保小連携ネットワーク会議について、来年度以降の子供たちの就学に関わる見通し等について話をさせていただいた。
- ・ 22日台風接近に伴い校長会主催の小城市学力向上研究会全体会が中止された。
- ・ 今後は、29日に市内の中学校の全国大会等の市長報告会が予定されている。今年は市内4中学校が全て全国大会に出場している。
- ・ 9月1日は土曜授業にして、同日から2学期がスタートする。
- ・ ミスをどういう風に活かすか。高校野球も行われているが、活動を通して、努力してそれが実現したり、実現しなくても達成感を味わったりすることが重要であって、それには、指導者や親やチームメートなどそこに人のかかわりがあるという事を大切にすると必要があると感じた。
- ・ 2学期前に自殺が増えると言われる中で、1人で抱え込むのではなく、だれかと話をして解決策を見出す策があるという事を教育の中で体験させる必要があると感じた。

6 議 事

第1 議決事項

【会議録】

平成30年7月定例教育委員会の会議録について（公開）

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

承認

第2 報告事項

【報告第25号】

小城郷土史研究会からの提言書について

〔説明〕

◇文化課長より説明

平成30年7月17日に小城郷土史研究会から小城市長、小城市教育長に対して提言書を提出された。

提言書の中で提案その1「歴史ある通りに愛称を付ける」、提案その2「町の小さなミュージアム構想」、提案その3「市民版『小城市の歴史』の発行」、提案その

4「学校における郷土史教育の充実」の4つの提案があり、文化課と関係課にて検討をしていきたいと考えている。

中でも提案その3とその4については具体性が高く、その3の提案の中で、市報、学校現場、青少年健全育成活動にて小城の歴史を紹介できないか検討しているところであり、郷土史研究会としても提言実現のために積極的に取り組むという基本姿勢を提言書に記載いただいているところである。

〔意見・質問〕

○B委員

小城市とあるのは、旧小城町だけではないという理解でよいか。

○文化課長

小城市。

○B委員

小城市全体ということをしかりと押さえていく必要がある。

また、小城市には屋根のない博物館構想があり、今回の提言に対して取り組んでいく中でもそれがベースとして生きてくると思うので、市民の皆さんに存在を知らせながら周知を図っていく必要があると思う。

○教育長

B委員のご指摘も含めて、教育委員会だけでなく、まちづくり等の市長部局とも連携してどういった事ができるのかを考えながら、市民の方々へ啓発して意識を高めていきたい。

○B委員

地方創生を考えていく中で、こういった提言は貴重と思う。

○教育長

一方で、提案その4「学校における郷土史教育の充実」ということで、学校等で協力をしたいとの意向をもっておられるので、学校との連携も含めて、関係部局と相談しながら進めていきたい。

○F委員

学校における郷土史教育の充実は非常に大切と思う。図書館でも鍋島直正がマンガでも紹介されているような時代に、まず小城市の歴史を知り、そこから、まちづくりの充実につながればいいと思う。

○教育長

小・中学校の教育課程上厳しい部分はある中でも、小城市の歴史は小城市の学校でないと伝えられない部分がある。郷土史研究会の協力を得ながら進めていきたい。

〔結果〕

了承

7 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

〔説明〕

◇教育総務課庶務係長が説明

- ①第 67 回小城本町シャンシャン祭り／第 67 回小城本町シャンシャン祭り祭典委員会
- ②第 9 回芦刈町体育協会長杯ジュニアバレーボールクラブ交流大会／芦刈町少女バレーボールクラブ父兄後援会
- ③クリスマスウインドウディスプレイコンテスト／一般社団法人文化芸術の泉アー

ル・フォンテヌ（小城鍋島家 Ten）

④あしかりお月見会／小城市文化連盟芦刈支部

⑤第 31 回観月会／小城市文化連盟三日月支部

⑥第 20 回佐賀県プロ野球県人会ドリーム旗争奪中学生軟式野球大会／佐賀県プロ野球県人会

⑦JA 杯第 33 回佐賀新聞学童オリンピック（バレーボール競技）予選及び決勝大会／佐賀県小学生バレーボール連盟

⑧第 20 回赤胴鈴之助剣道大会・竹刀供養／赤胴鈴之助剣道大会・竹刀供養実行委員会

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

（2）平成 30 年度小城市幼児教育・保育施設運動会日程について

〔説明〕

◇保育幼稚園課長が説明

平成 30 年度小城市幼児教育・保育施設運動会日程表をお配りしている。私立園については、駐車場等の理由により案内を行わない園もあるとの事であった。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

（3）2013 国民スポーツ大会における小城市開催競技について

〔説明〕

◇生涯学習課長が説明

2023 年に佐賀県で開催を予定している国民体育大会について、小城市開催競技が決定した。

競技はハンドボール、成年男子のバレーボール、成年女子のソフトボールの 3 種目で、開催会場はハンドボール、バレーボールを芦刈文化体育館、ソフトボールについては牛津総合公園多目的グラウンドとなっている。

また、2023 年大会より国民体育大会の名称は、国民スポーツ大会と名称が変更される。

〔意見・質問〕

○F 委員

30 年ほど前の佐賀国体では旧牛津町はバドミントンの候補地となり、選手が自宅に泊まった経験がある。

○教育長

宿泊の問題はどうなのかという話は問題点として挙がっている。

○生涯学習課長

佐賀は宿泊施設が少ないという事で、宿舍の問題があるが、基準として全ての参加者が同じ食事を取るなど、選手に同じ条件をとっているものがある。今回食事、待遇など基準が明確化されているので民泊は難しいと思う。

○教育長

最近では食中毒等の面からも食の問題は大きくなっている。少ない施設の分配や日程の調整等対応されることと思う。

〔結果〕

了承

(4) 小城市子どもクラブ球技大会について

〔説明〕

◇生涯学習課長が説明

例年8月に実施している小城市子どもクラブ球技大会とその地区予選について、例年になく猛暑に伴い、子どもたちの安全を最優先に考え、青少健会長と協議の上中止にさせていただいた。

それに伴い、8月19日に鳥栖市で開催された県子どもクラブ連合会主催の県大会は参加していない。

〔意見・質問〕

○C委員

他自治体の県大会の参加状況は。

○生涯学習課長

武雄市他小城市と同様に熱中症予防を理由に不参加となっている自治体もあり、ドッジビー14チーム、ミニバレーボール8チームの参加にとどまった。

○B委員

小城市が主体性を持って判断したことについてはよい。ただし、今回のような猛暑が毎年続くようであれば県大会の開催時期を含めて検討する必要がある。

○生涯学習課長

今回の県大会についても佐賀県子どもクラブ連合会にて検討して、開催を判断されている。今後の気候によっては対応も変わってくるものと考えている。

〔結果〕

了承

(5) 小城市内小中学校運動会・体育大会日程等について

◇学校教育担当部長が説明

小城市内小・中学校において、2学期には8校が運動会を実施する。日程については別紙のとおりとなっているため、ぜひ参観いただきたい。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

8 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 9月27日(木) 午前9時30分～

【場 所】 小城市役所 西館2階 2-6会議室

9 議 事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（非公開） [承認]

【議案第 10 号】

平成 30 年第 3 回小城市議会定例会における教育委員会所管議案について [承認]

第 2 協議事項

【報告第 4 号】

就学援助（準要保護）について [了承]

第 3 報告事項

【報告第 26 号】

就学援助の認定について [了承]

【報告第 27 号】

特別支援教育就学奨励費の認定について [了承]